

鎌倉市制80周年記念イベント まちづくりシンポジウム

来場者アンケート集計結果

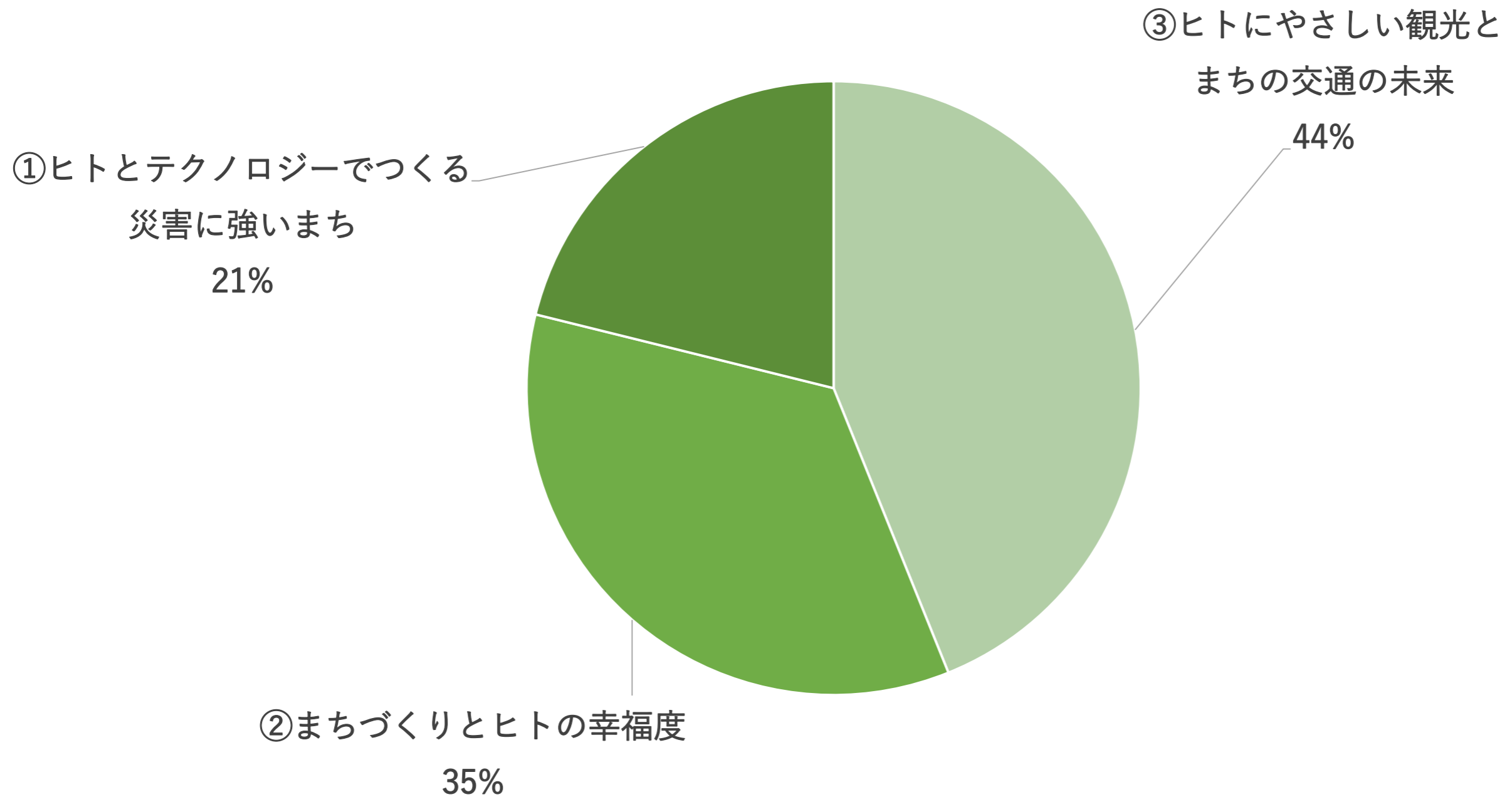
令和2年3月13日

鎌倉市 共創計画部 政策創造課

アンケートの概要・設問

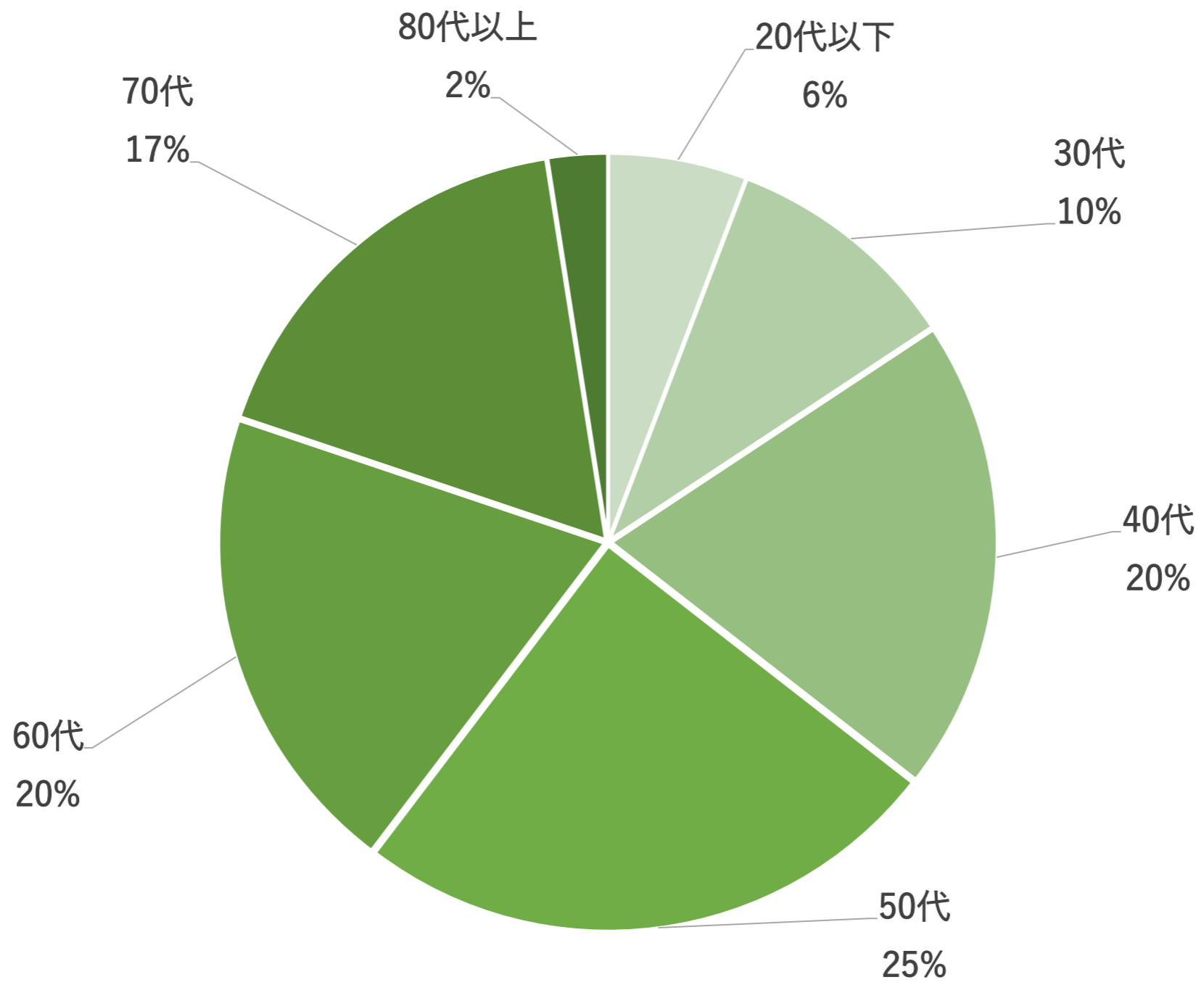
設問	回答方法	選択肢
年齢	選択式	20代以下／30代／40代／50代／60代／70代／80代以上
お住まい	選択式	1. 鎌倉市内 2. 鎌倉市外
本日のシンポジウムの満足度は？	選択式	1. 満足した 2. 普通だった 3. あまり楽しめなかった（理由： ）
本日のシンポジウムを通じて、鎌倉のこれからのまちづくりに期待が持てますか？	選択式	1. おおいに期待できる 2. 期待できる 3. 期待できない（理由： ）
テクノロジーを活用したみらいのまちづくりについて、どのように感じましたか？（複数回答可）	選択式	1. 新しい可能性を感じた 2. 身近に感じた 3. 何となくイメージがわいた 4. 自分とはかかわりのないものを感じた 5. その他（ ）
本日の第3分科会のような機会があったら、今後も参加したいですか？	選択式	1. 参加したい 2. テーマ次第では参加したい 3. 参加したくない 4. その他（ ）
本日の感想やご意見がございましたら、ご記入ください。	自由記述式	

n=123

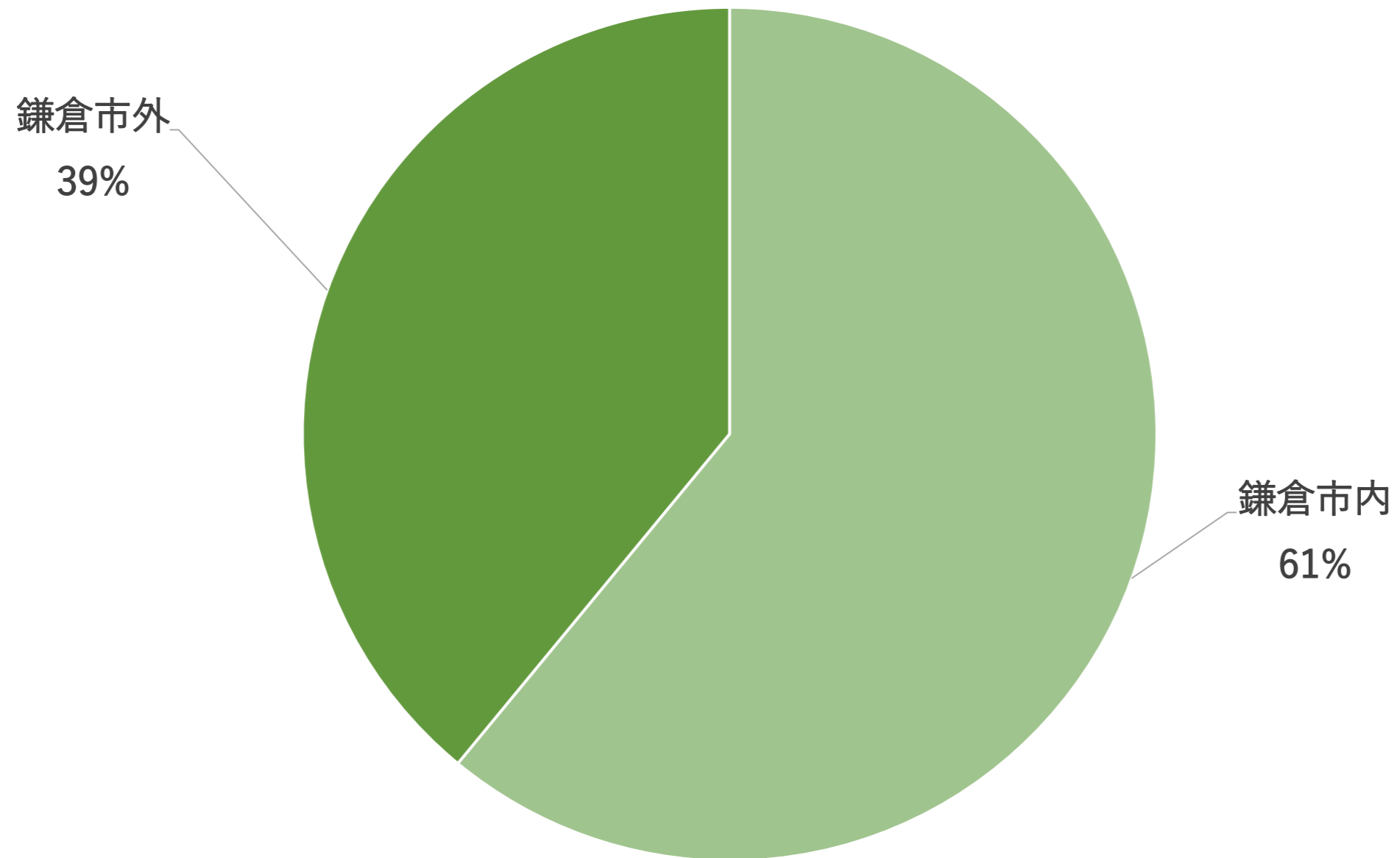


回答者属性：年齢

n=121

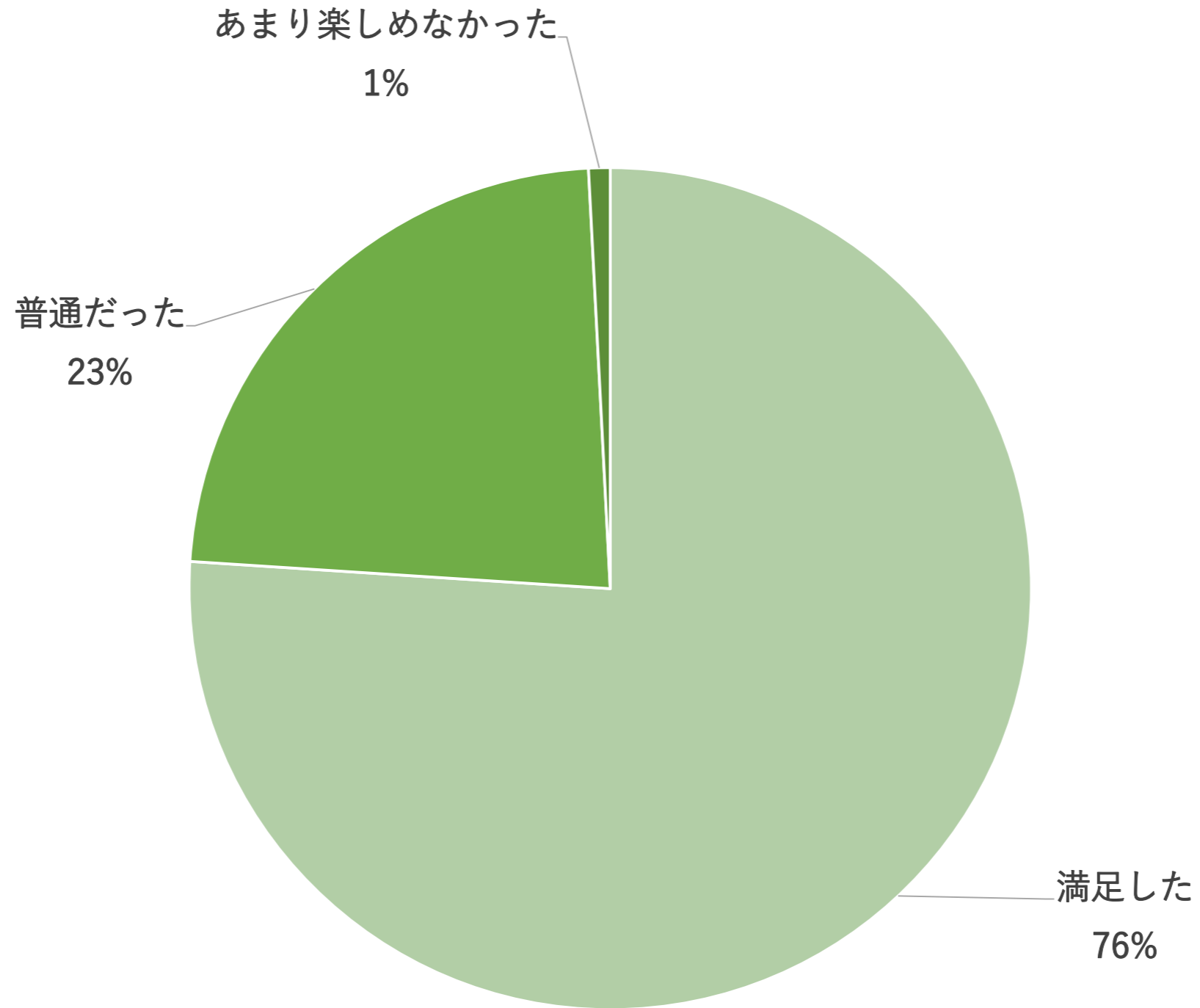


n=123



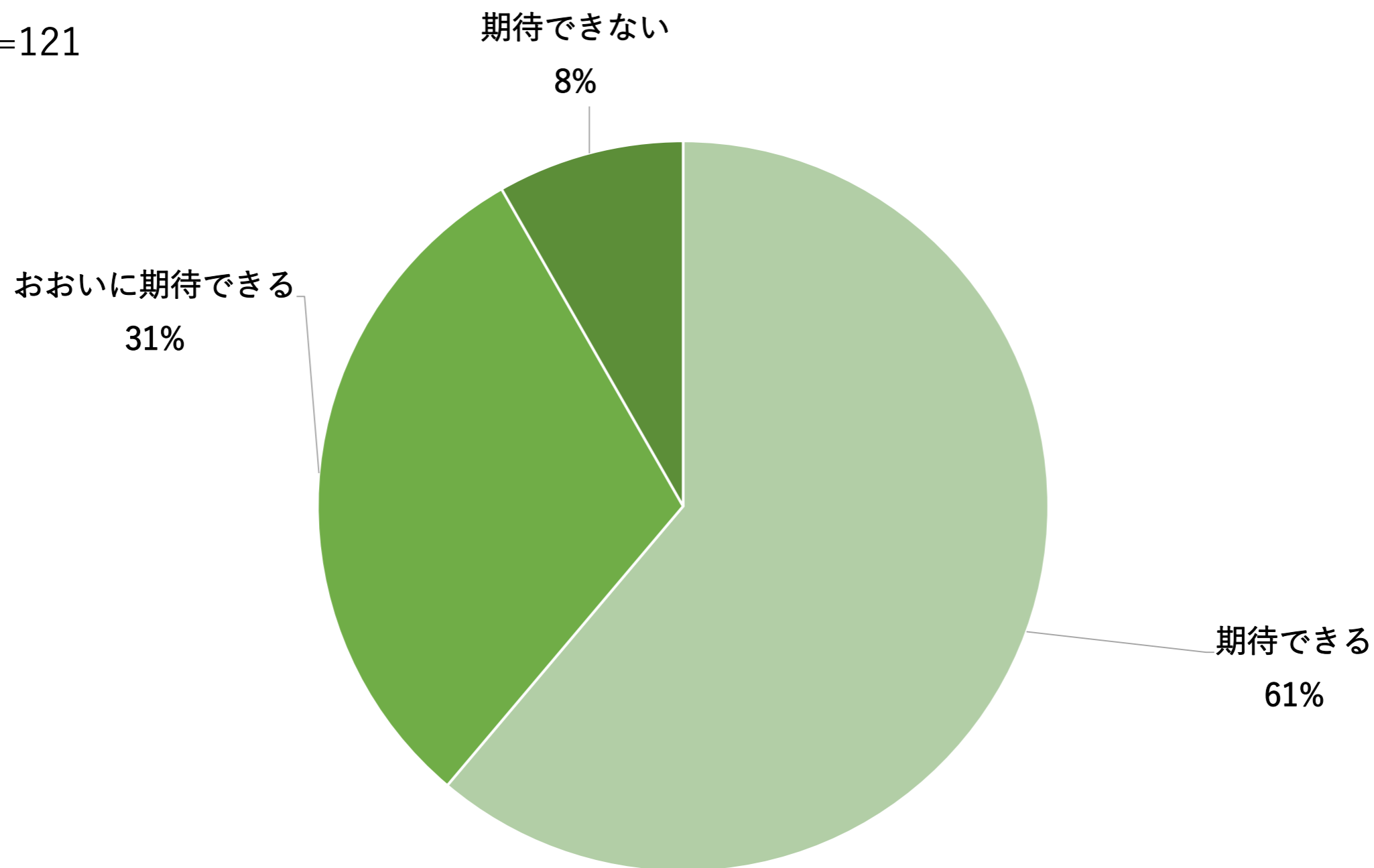
Q：本日のシンポジウムの満足度は？

n=121



Q：本日のシンポジウムを通じて、
鎌倉のこれからのまちづくりに期待が持てますか？

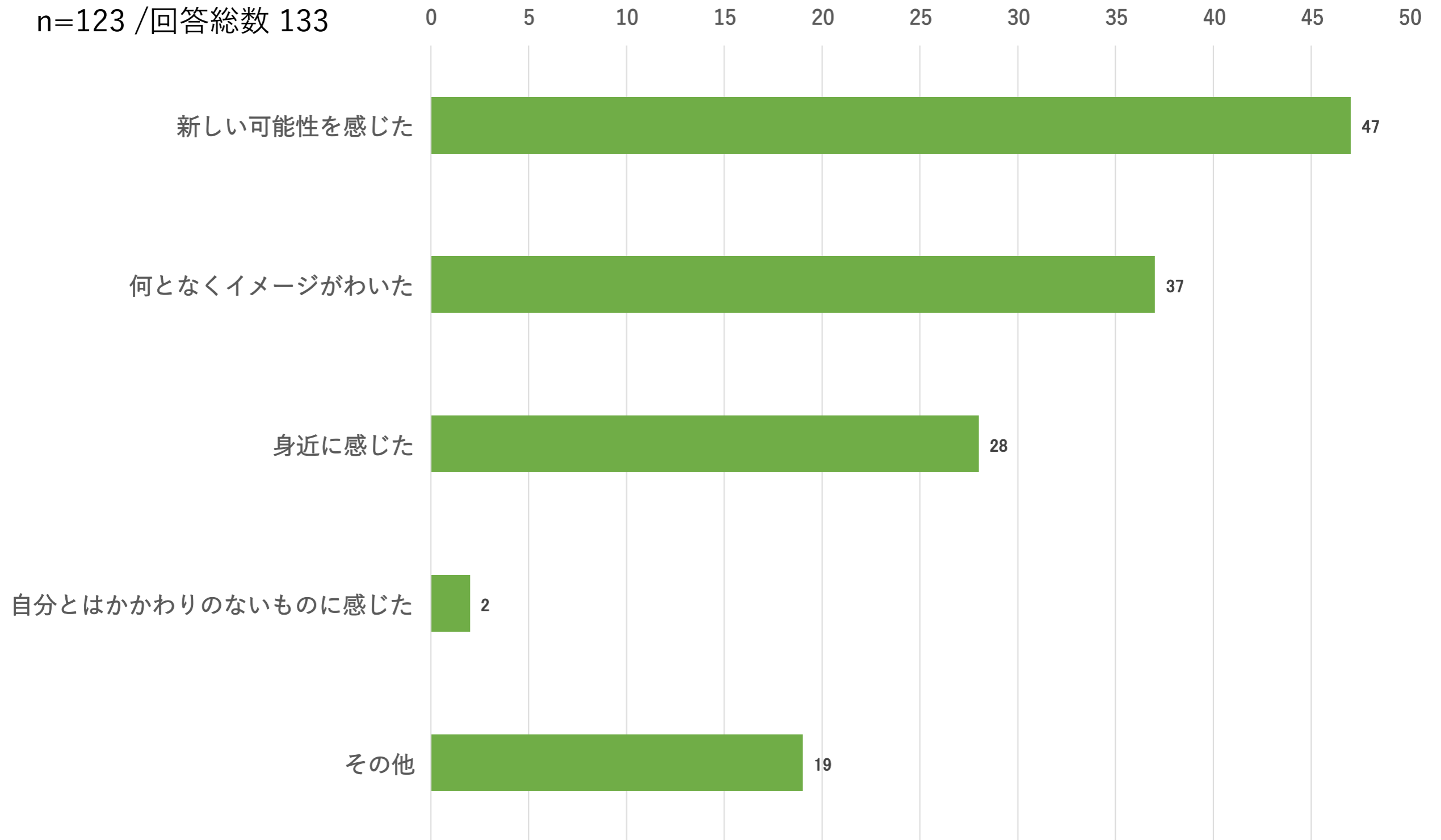
n=121



Q：テクノロジーを活用したみらいのまちづくりについて、 どのように感じましたか？（複数回答可）

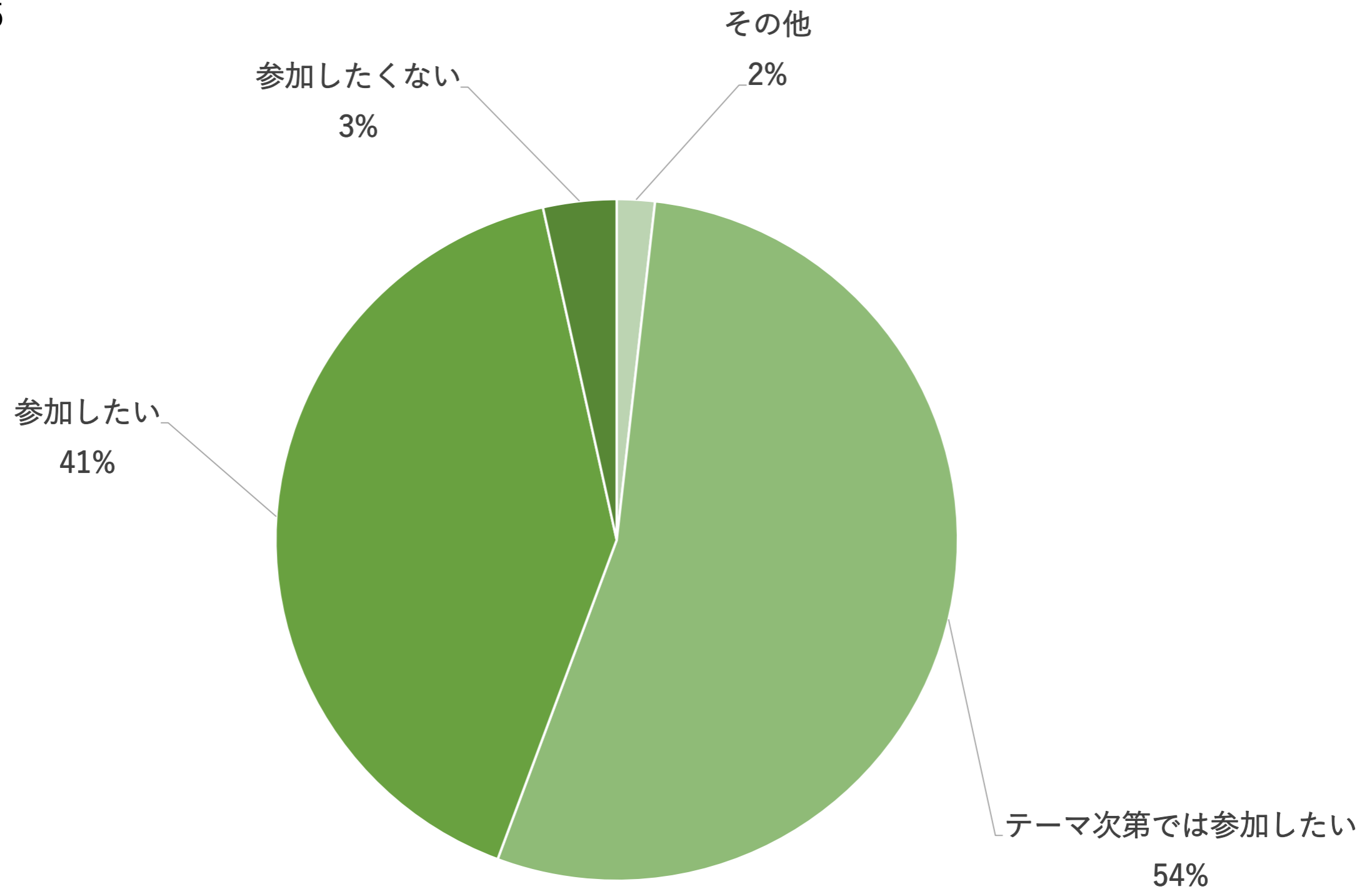
単位：件

n=123 / 回答総数 133



Q：本日の第3分科会のような機会があったら、今後も参加したいですか？

n=115



- 観光は、ネガティブな質問・問題が多く、暗い感じでちょっと残念。困っている、だからどうなってほしい、どうなりたいかを考えていきたいです。
- こういった色々なステイクホルダーが集まる議論はとても良いと思います。ただし、ディスカッションのテーマはもう少し明確化したほうが良いと感じました。
- まちづくりとは、意外と身近にある、でも見えてない課題と向き合うことからはじまるんだなと新しい気づきになった。
- 鎌倉市は、鎌倉市民だけが創っていくのではなく、鎌倉を愛するコミュニティー（市民外の人々）とともに歩んでいくのかと思う。
- 高齢の方々も多かったので、カタカナ語が大変多く、理解しづらい人もいたのではなかったかと思う。
- 観光と交通の課題は、鎌倉市は長らくパークアンドライドとロードプライシングを検討してきました。この話題についてダイレクトにみなさんと意見を交えてみたかったです。
- 興味深かった。市政、まちづくりの説明会なども各論決定時ではなく、コンセプトを練る段階から開催、広報が良いと思われる。各論では新しい価値観は産まれない？
- 事前に何らかの課題を提示して、参加者の関心や意向を聞いておくのとよいのではないか。
- 市民だけでなく、市外の方も参加され「外から見た鎌倉」の意見を聞いてよかった。会議室でなく、寺という雰囲気ある会場でできたのが良かった。ポストイットのコメントが多様で面白かったので、グループディスカッションの形式があっても良かったのでは。そうすると人のつながりもできるので。
- 主催者側の市の関係者がスピーカーとして入ってほしかった。
- 多くの知見を得られた。今後、どのように鎌倉のまちづくりに関与できるか考えたい（機会が欲しい）。
- 第3部は具体的で楽しかった。それぞれが自分の意見を考えたり、発表する機会があって自分ごとで話を進められたのが良かった！（先生の話聞くだけじゃなかった）

- 歴史を大切に自然を大切にするというコンセプトは非常に良いと思う。隈先生の説明もわかりやすく良かった。
- 様々なパネリストの方々から貴重な意見が多数あった。意見をブラッシュアップしながら市民を交えて1つでも多く実現できたら良いと思います。
- スマートシティーの取組みは、藤沢や深沢もそうですが、大規模な用地の創出を機に行われるのがほとんどで、鎌倉の既成地においてこれが実現できれば、歴史と革新を体現する唯一無二のまちになると思います。
- 鎌倉にお住まいの方は、なかなか納得してもらえないだろうけど、他所の人の声や第三者の意見や提案も大切にして欲しい。
- 鎌倉に住んでいるだけで良くも悪くもブランドを背負っている気がします。他の市外に住んでいる人々にとって「あこがれ」の市です。ほこりをもって住んで暮らしていくための努力をしましょう。
- 第3部について、隣のグループの話し声(マイク)と混じって、当グループの方の声が聴きにくい。会場を考えるべき(③グループの者)
- 住民と行政との連携、共生の難しさを感じた。
- 今後、また開催されるのであれば、託児サービスを行ってほしかった。お子さんを連れなくては参加出来ない人や、参加する同伴のお子さんが我慢せず、無理なく参加できる環境を多く作ってほしい。多様性を優先してもらえるのであれば、誰でも参加出来る場づくりがあると、若い世代も行く次世代も参加してくれるようになるかと思います。多くの世代の意見がひろえられる環境をお願いいたします。
- 最新の知見を伺い、とても啓発を受けました。その上でこうした知恵を共有していくか、日常のお話の中ではなかなか伝わっていないのではとも思いました。こうした一つ一つの取組がますます重要だと感じました。
- 沢山の方々がいって様々真剣に考えていることに感銘しました。ありがとうございました。
- 観光に力を入れている街が、住人にとっても住みやすい街にするというのは難しいと改めて思いました。